

令和8年度 県立病院跡地発掘調査事業に伴う発掘調査業務委託 特記仕様書

- 1 件名 県立病院跡地発掘調査事業に伴う発掘調査業務委託
- 2 所在地 会津若松市城前地内（別紙のとおり）
- 3 契約期間 契約締結日から令和9年2月26日まで
- 4 業務内容
 - (1) 埋蔵文化財包蔵地の本発掘調査
 - (2) 資料整理
(遺物整理、遺構図面整理、写真整理、台帳整理等の基礎整理まで)
- 5 発掘調査の対象面積 約2,100㎡
- 6 業務内容ごと実施期間
 - (1) 現地調査の実施期間：令和8年4月6日から令和8年10月30日まで
 - (2) 資料整理の実施期間：令和8年4月6日から令和9年2月26日まで
- 7 調査体制
 - (1) 現地調査：主任調査員1名（現場代理人兼任）、調査補助員2名
計測員1名、計測補助員1名、発掘作業員最大20名程度
 - (2) 資料整理：主任調査員1名（現場代理人兼任）、調査補助員1名
整理作業員5名程度
- 8 記録方法
 - (1) 遺構実測方法：トータルステーション、写真実測および手実測を併用
 - (2) 写真記録：デジタルカメラ等を使用し、記録用媒体に記録
- 9 遺跡概要
 - (1) 若松城郭内武家屋敷跡（遺跡番号 202800294） 中世・近世/城郭跡
 - (2) 立地：宅地（現状更地）
 - (3) 土質：シルト～粘土、砂礫層
 - (4) 遺構検出面：2面
 - (5) 遺構保存状況：比較的良好
- 10 調査の概要
 - (1) 予想検出遺構
 - ・建物跡6軒、井戸跡28基、池跡5基、溝跡20条、大型溝跡5条、土坑、ピット、道路跡等
 - ※大型溝跡・・・上幅2～3m、深さ1m程度の大型の溝跡
 - (2) 予想遺物出土量：平箱120箱
 - (3) 基準点測量：「公共測量作業規定」の基準点測量により、事業地内に6箇所設置
 - (4) 予想表土掘削廃土：2,500㎡程度
(掘削深度は1層目：現表土－0.4～0.7m、2層目：－0.9～1.3m)

- ・掘削廃土置き場は調査地内とする。Aは調査後に埋め戻しを行わないが、B及びCは調査後に埋め戻し、Cはその上に碎石を敷き直すこと。
- ・現地調査に使用するバックホーや土砂運搬車両等は受注者が手配する。

(5) 排水：ポンプ等で排水し、沈殿水槽を介して周辺の排水溝に排水する。

11 資料整理要件

- (1) 遺物：洗浄して注記し、テンバコに収納。
- (2) 遺構図面：計測データの点検・修正後、A I 及びP D F形式で記録媒体に保存。
- (3) 写真：デジタルデータにファイル名を記し、記録媒体に保存。
- (4) 遺物、遺構図面、写真それぞれについて、成果品と照合できる台帳を作成する。

12 空中写真撮影

- (1) 撮影回数 4回 （垂直撮影および俯瞰撮影）
- (2) 撮影手法 空撮用ドローンを用いて撮影
- (3) 撮影カメラ デジタルカメラ（2,000万画素以上）
- (4) 撮影した垂直撮影写真はデジタル合成写真の作成を行う。

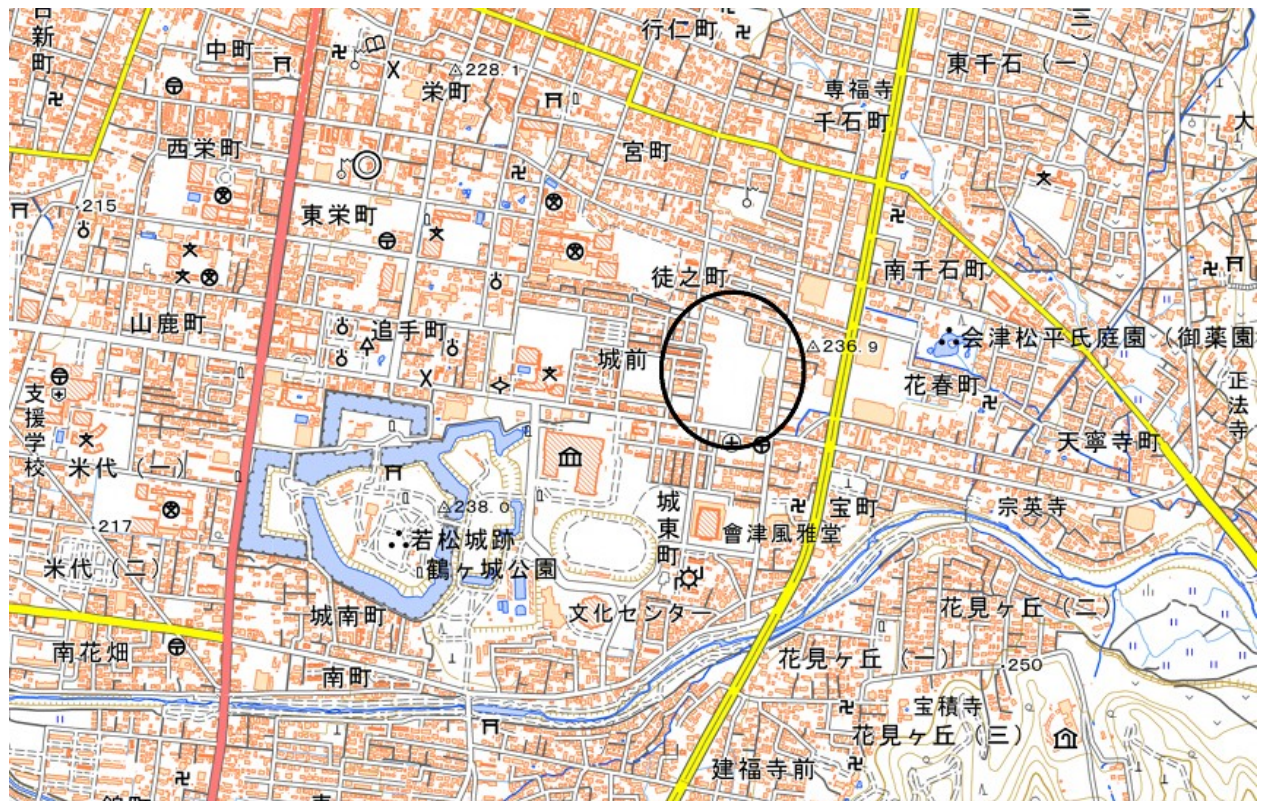
13 成果物

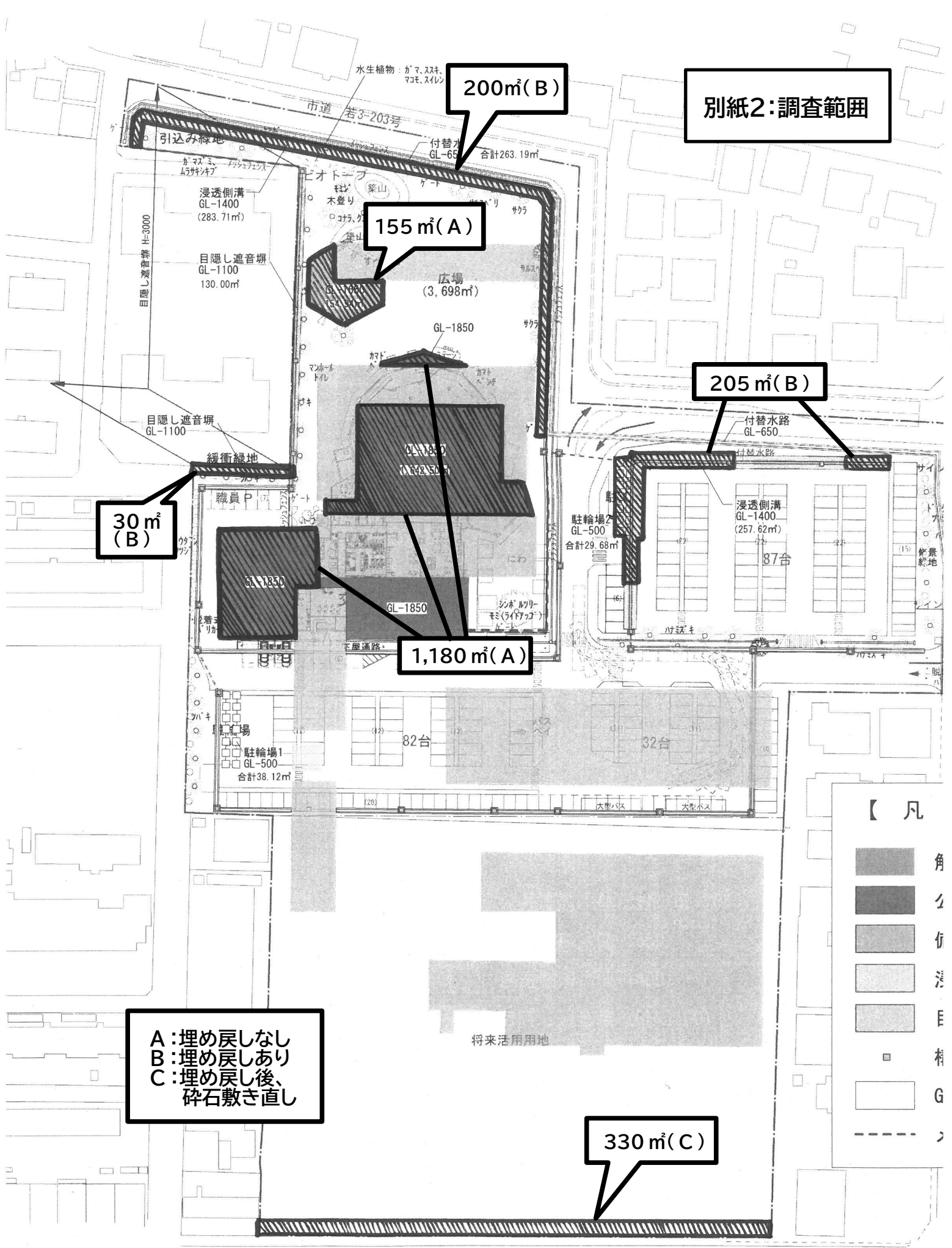
- | | |
|--------------------------------|----|
| (1) 発掘作業日誌 | 1式 |
| (2) 調査結果概要 | 1式 |
| (3) 各種台帳（図面台帳、遺物台帳、写真台帳） | 1式 |
| (4) 調査記録写真及び遺物写真（デジタルデータ） | 1式 |
| (5) 遺構及び遺物の図面データ（調査区実測図、遺構実測図） | 1式 |
| (6) 遺構図面（紙出力） | 1式 |
| (7) 出土遺物 | 1式 |
| (8) 現場管理書類等 | 1式 |
| (9) その他本業務で取得した電子データ（電子記録媒体） | 1式 |
| (10) 発注者と受注者で協議の上、必要と認められるもの | 1式 |

14 その他

- (1) 現地調査期間中は事業地内に仮設現場事務所を設置するものとする。
なお、現場事務所の借上げ及び設営は受注者が行うものとする。
- (2) 現地調査中は不特定多数が調査区内に立ち入らないように外周防護柵等の安全対策を施すとともに、注意喚起の看板等を設置すること。
- (3) 業務の一括再委託は禁止とする。
- (4) 会津若松市発注工事等からの暴力団等排除措置要綱を遵守すること。

別紙1:調査位置





A:埋め戻しなし
B:埋め戻しあり
C:埋め戻し後、
砕石敷き直し

全体配置図 S=1/1000